

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
27-122	高等学校	国語	国語総合	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
50 大修館	国総346	精選国語総合 新訂版		

1. 編修上の趣旨及び留意点

教育基本法や学校教育法改正の趣旨をふまえ、国民として必要な国語力の知識・教養の修得と、生涯にわたって学習する基盤とその意欲をはぐくむことで豊かな人間性、創造性を養い、国家及び社会の形成者として必要な資質の育成に寄与する教科書をめざした。

2. 編修の基本方針

- ・国語の学習によって、言葉で伝え合う力を高めることを重視し、言語活動を通して、思考力を伸ばし、創造性を養い、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を喚起することで、総合的な国語力が身に付くよう配慮する。
- ・現代文編については、教育基本法第2条に示された教育目標への対応に配慮しつつ、近代から現代まで、さまざまな内容、ジャンルの教材を幅広く取り上げる。
- ・古文編・漢文編については、高校生が身に付けるべき教養として必要な古典作品を精選して収録し、我が国の伝統と文化を尊重する態度をはぐくむよう配慮する。
- ・教材化にあたっては、生徒の興味・関心を喚起しつつ、言語活動を通して、生徒が主体的に学習に取り組めるよう配慮する。

3. 対照表

図書構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
現代文編 1 随想 ——世界をひらく 挑戦／尋ねあい	・個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、自主・自立の精神を養うとともに、社会の形成に主体的に参画する態度を養うことをねらいとし、未知の領域に挑戦することのすばらしさを説いた「挑戦」、他者とかかわり合いながら価値をすり合わせて合意を形成していくことの大切さを説いた「尋ねあい—自由な主体への成長」を収録した。(第2・3号)	pp.12-27
2 小説(一) ——心を見つめる 羅生門／ 『今昔物語集』巻第二九第一八／ 鏡	・想像力を養い、豊かな情操を培うことをねらいとし、近代の名作「羅生門」、自分自身と向き合うことの恐怖を怪談仕立てで描いた「鏡」を収録した。(第1号) ・「羅生門」の典拠となった『今昔物語集』を掲載し、日本の古典が近代、ひいては現代にまで生き続けていることがわかるよう配慮した。(第5号)	pp.28-55
3 評論(一) ——視野を広げて 水の東西／まずは形から	・伝統や文化を重んじる態度を身に付け、健やかな身体を養うことをねらいとし、日本文化と西洋文化の違いを考える「水の東西」、身体と心理の関連性を説く「まずは形から」を収録した。(第1・5号)	pp.56-73
4 詩 ——イメージを味わう 鶯のうへ／一つのメルヘン／ 自分の感受性くらい	・想像力を養い、豊かな情操を培うとともに、我が国の言語文化に親しむことをねらいとし、文語・口語合わせて3編の詩を収録した。(第1・5号)	pp.74-79
5 評論(二) ——自然をとらえる 動的平衡としての生物多様性／ 自然と人間の関係をとおして考える	・自然や環境を大切にすることをねらいとし、地球環境を支える生物多様性の重要性を論じた「動的平衡としての生物多様性」、自然保護の原点を考えさせ、環境問題について新たな視点を与える「自然と人間の関係をとおして考える」を収録した。(第4号)	pp.80-97

<p>6 小説（二） ——文学を味わう</p> <p>城の崎にて／セメント樽の中の 手紙／夢十夜</p>	<ul style="list-style-type: none"> 想像力を養い、豊かな情操を培うことをねらいとし、生きものの生死について考えを深める「城の崎にて」、苛酷な労働による悲劇を描いた「セメント樽の中の手紙」、夢の中の出来事を幻想的に描く「夢十夜」を収録した。(第1号) 	pp. 98-121
<p>7 評論（三） ——現代を問う</p> <p>贅沢を取り戻す／空気を読む</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自主・自立の精神を養い、主体的に社会の発展に寄与することをねらいとし、現代社会における消費やコミュニケーションのあり方について考えさせる「贅沢を取り戻す」「空気を読む」を収録した。(第2・3号) 	pp. 122-141
<p>8 短歌・俳句 ——伝統と革新</p> <p>短歌 十五首／短歌を訳す／ 俳句 十二句</p>	<ul style="list-style-type: none"> 想像力を養い、豊かな情操を培うとともに、我が国の言語文化に親しむことをねらいとし、幅広い作者による短歌を15首・俳句を12句収録した。(第1・5号) 短歌を英訳したり、古典和歌を現代語訳したりする「短歌を訳す」を取り上げ、現代に通じる伝統的な言語文化の豊かさを理解できるよう配慮した。(第5号) 	pp. 142-157
<p>9 評論（四） ——言語と社会</p> <p>言葉についての新しい認識／ 「方言コスプレ」現象</p>	<ul style="list-style-type: none"> 言語についての幅広い知識と教養を身に付けるとともに、伝統や文化への理解を深めることをねらいとし、日本語と外国語における認識の違いについて論じる「言葉についての新しい認識」、現代社会における方言の位置付けを論じる『「方言コスプレ」現象』を収録した。(第1・5号) 	pp. 158-181
<p>10 小説（三） ——平和を考える</p> <p>友よ／良識派</p>	<ul style="list-style-type: none"> 正義と責任を重んじ、生命を尊ぶとともに、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことをねらいとし、戦争のもたらした爪痕を描いた「友よ」、主体性を欠く態度が悲惨な結果を招くさまを寓話的に描いた「良識派」を収録した。(第3・4・5号) 	pp. 182-201
<p>11 評論（五） ——これからの教養</p> <p>技術としての「教養」／白</p>	<ul style="list-style-type: none"> 幅広い知識と教養を身に付けるとともに、勤労を重んずる態度を養うことをねらいとし、真のプロフェッショナルに必要なとされる新しい教養について論じた「技術としての『教養』」、「白」というイメージについて論じ、美意識や知性のあり方を考える「白」を収録した。(第1・2号) 	pp. 202-222
<p>古文編</p> <p>1 古文入門 ——古文に親しむ</p> <p>古典の魅力／ねずみの婿とり</p>	<ul style="list-style-type: none"> 我が国の伝統文化への興味・関心を喚起し、理解を深めることをねらいとし、古典および古典芸能の特質とその楽しみ方について述べた、古典に関連する近代以降の文章「古典の魅力」を収録した。(第5号) 古文を読むための基礎的な知識を身に付け、古典作品の特質を知ることがねらいとし、昔話としてなじみのある「ねずみの婿とり」を収録し、古文学習へのスムーズな導入を図った。(第1号) 	pp. 244-251
<p>2 説話 ——説話を楽しむ</p> <p>宇治拾遺物語／今昔物語集</p>	<ul style="list-style-type: none"> 伝統的な言語文化に対する知識を身に付け、古典におけるものの見方、考え方をすることをねらいとし、説話教材3本を収録した。(第1号) 近現代の文学にも影響を与えた説話の魅力を知り、我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第5号) 	pp. 252-265
<p>3 随筆 ——古人の感性</p> <p>徒然草／枕草子</p>	<ul style="list-style-type: none"> 古人の豊かな情操にふれることをねらいとし、随筆教材2作品8本を収録した。(第1号) 個人の価値を尊重し、創造性を培うことをねらいとし、『徒然草』では、滑稽譚・教訓譚、『枕草子』では随想的章段・類集的章段・日記的章段など、幅広い内容と形式の章段を収録した。(第2号) 我が国の自然風土と言語文化の密接な関係に気づくことをねらいとし、作者の自然観や美意識が表れた章段を収録した。(第4号) 作品を通じて我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第5号) 	pp. 266-285
<p>4 物語 ——物語のはじまり</p> <p>竹取物語／伊勢物語</p>	<ul style="list-style-type: none"> 想像力を養い、豊かな情操を培うことをねらいとし、物語教材2作品4本を収録した。(第1号) 我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を養うことをねらいとし、我が国最古の作り物語である『竹取物語』および、代表的な歌物語である『伊勢物語』を収録し、教材化に配慮した。(第5号) 	pp. 286-299
<p>5 軍記 ——軍記物語の響き</p> <p>平家物語</p>	<ul style="list-style-type: none"> 劇的な展開とリズムカルな文体をもつ軍記作品について知ることをねらいとし、『平家物語』から2本収録した。(第1号) 正義と責任、自他の敬愛を重んずる態度を養うことをねらいとし、義仲主従の最期を描いた「木曾の最期」を収録した。(第3号) 我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を養うことをねらいとし、『平家物語』が後世の文化や芸能に与えた影響について紹介するコラムを設けるなど、教材化に配慮した。(第5号) 	pp. 300-311

<p>6 和歌 ——和歌を味わう</p> <p>万葉集・古今和歌集・ 新古今和歌集</p>	<ul style="list-style-type: none"> 想像力を養い、豊かな情操を培うことをねらいとし、三歌集より和歌教材 23 首を「四季の移ろい」「人間と自然」「恋慕と別離」のテーマごとに配列した。(第 1 号) 生命を尊び、自然を大切にすることをねらいとし、我が国の四季折々の自然風土を詠んだ作品を収録した。(第 4 号) 和歌の修辞や歌集の特徴について知り、我が国の伝統文化への興味・関心を喚起し、理解が深められるよう配慮した。(第 5 号) 	pp. 312-321
<p>7 日記・紀行 ——古人の旅と思い</p> <p>土佐日記／奥の細道</p>	<ul style="list-style-type: none"> 当時の旅の様子や暦、時刻、方位など古典に関する幅広い知識を身につけ、豊かな情操を培うとともに、我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を養うことをねらいとし、仮名日記文学の先駆としての『土佐日記』から 2 本、近世の俳諧紀行文『奥の細道』から 3 本を収録した。(第 1・5 号) 	pp. 322-334
<p>漢文編</p> <p>1 漢文入門 ——漢文に親しむ</p>	<ul style="list-style-type: none"> 漢文を読むための基礎的な知識を身に付けることをねらいとし、人口に膾炙した格言を中心に例文を豊富に収録し、漢文学習へのスムーズな導入を図った。(第 1 号) 我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を養うことをねらいとし、漢字漢文の伝来の歴史と、漢文が我が国の文化を形成発展させる上で果たした役割について具体的な写真資料とともに示した。(第 5 号) 	pp. 336-351
<p>2 故事成語 ——ことばの背景</p> <p>借虎威／漁父之利／蛇足／朝三暮四</p>	<ul style="list-style-type: none"> 幅広い知識と真理を求める態度を養うことをねらいとし、現代でも使われる言い回しのもととなった故事を 4 本収録した。(第 1 号) 寓意を含んだ短文の訓読を通じて我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第 5 号) 	pp. 352-360
<p>3 古代の史話 ——歴史と人間</p> <p>先從隗始／鷄鳴狗盜／臥薪嘗胆</p>	<ul style="list-style-type: none"> 当時の時代背景や地理などの幅広い知識と真理を求める態度を養うことをねらいとし、史話教材 3 本を収録した。(第 1 号) 歴史上実在する人物の生き方を通じて、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことができるよう配慮した。(第 3 号) 中国の歴史書の表現の特徴と我が国に与えた影響を知り、我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第 5 号) 	pp. 361-371
<p>4 唐代の詩 ——叙情のしらべ</p> <p>絶句／律詩</p>	<ul style="list-style-type: none"> 想像力を養い、豊かな情操を培うことをねらいとし、唐詩の名作 11 首を収録した。(第 1 号) 漢語の特色を活かして緊密に構成された韻文の訓読を通じて、我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第 5 号) 	pp. 372-383
<p>5 唐代の文章 ——寓意の名文</p> <p>雑説</p>	<ul style="list-style-type: none"> 真理を求める態度を養うことをねらいとし、唐代の論説文を収録した。(第 1 号) 達意の名文として知られる韓愈の文章の訓読を通じて、我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第 5 号) 	pp. 384-385
<p>6 孔子の思想 ——人生の指針</p> <p>学問／政治</p>	<ul style="list-style-type: none"> 伝統的な言語文化に対する幅広い知識と、真理を求める態度を養うことをねらいとし、中国古典を代表する書物であり、日本人の精神形成にも影響を与え続ける『論語』13 章を、「学問」「政治」のテーマ別に配列した。(第 1 号) 古典の現代的意義を知り、理解を深めることをねらいとし、古典に関連する近代以降の文章として、『論語』の章句について解説した文章 3 本を収録した。(第 5 号) 	pp. 386-393
<p>7 唐代の物語 ——物語を楽しむ</p> <p>人面桃花</p>	<ul style="list-style-type: none"> 想像力を養い、豊かな情操を培うことをねらいとし、唐代の伝奇小説「人面桃花」を収録した。(第 1 号) 高校生の心情に訴える恋愛物語の訓読を通じて、我が国の伝統的な言語文化を尊重する態度を涵養できるよう、教材化に配慮した。(第 5 号) 	pp. 394-400

4. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点

- ・現代文編においては、「言語活動」として、「話すこと・聞くこと」「書くこと」の言語活動を、「読むこと」の教材との有機的なつながりを意識しつつ体系的に位置づけ、「伝え合う力」を総合的に培えるように配慮した。また、「思考を深める」「表現を味わう」として、文章を読んだり書いたりする際の基礎的な技能や留意点をまとめたコラムを設け、論理的思考力や語彙力・表現力を養えるよう配慮した。さらに、「広がる読書、広がる世界」として、教材や単元に関連する知識や書籍を紹介するコラムを設け、幅広い知識を身に付けるとともに、読書に親しむ態度を育成できるよう工夫した。現代文編末には、文を書くための基礎をまとめた「豊かな言語活動のために」と、評論などでよく取り上げられるテーマや語句について解説した「キーワード解説」を設置した。
- ・古文編・漢文編においては、「古文を読むために」「漢文を読むために」として、古典を読むための基礎知識を整理したコラムを設けた。また、「古文の窓」「漢文の窓」として、教材に関連して知っておきたい古典常識などを紹介するコラムを設け、古典の世界がより身近に感じられるよう工夫した。
- ・資料編においては、文学の流れ・古文の舞台・暮らし・時間等に関する写真資料や地図を豊富に示し、それぞれの作品世界により親しみやすくなるよう配慮した。

編修趣意書

(学習指導要領との対照表、担当授業時数表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
27-122	高等学校	国語	国語総合	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
50 大修館	国総346	精選国語総合 新訂版		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

●基本方針

言葉で伝え合う力を高めることを重視し、豊かな言語活動を通して、基礎的な知識および技能を身に付け、思考力・判断力・表現力を磨き、主体性をもって多様な人々と協働することによって、総合的な国語力を養い、生涯にわたって国語に親しむ態度をはぐくむことを基本方針とする。

●構成

単元構成は教材のジャンルに配慮しつつ、各単元のねらいにもとづいたテーマ別に編成し、国語科の基礎として必修すべき内容を明確にした。「言語活動例」については、単元内の教材と密接に関連づけた「言語活動」を設置し、生徒の学習意欲を喚起できるよう配慮した。また、現代文編の末尾には「豊かな言語活動のために」を置き、「書くこと」の力をはぐくみ、さまざまな学習場面で活用できる活動をまとめて提示した。

●教材選択にあたっての配慮

現代文編では、評価の定まっている基本的な教材と、現代の高校生が読むに値するテーマを追求した新鮮な教材をバランスよく配置した。

古文編・漢文編では、基本的な名作・名文を精選して収録するとともに、教材理解に役立つ古典に関連する近代以降の文章を収録し、我が国の伝統文化への興味・関心を喚起し、理解を深められるよう配慮した。

●教材化の工夫

1 基礎・基本が身に付く教科書の基本設計

- 漢字・語彙の学習に役立つ「漢字」欄を見開きごとに配置。読み替えや同音異義語、対義語などの情報も充実させ、「学習のポイント」の「語句と漢字」欄とあわせて、漢字・語彙の学習に資するようにした。
- 評論などを読み解く際に大切な語句を「キーワード」として示した。現代文編末尾の「キーワード解説」とあわせて語彙力の育成に資するようにした。
- 古文編、漢文編の脚注欄では、人名には「人」、地名には「地」、補足的な情報には「補」の記号を示した。また「重要古語」「訓読で注意する文字」に印を付け、巻末で一覧できるようにした。

2 古典学習への丁寧な導入

- 古文編、漢文編とも最初の単元を「入門」単元と位置づけ、教材に傍訳や、現代仮名遣いによるルビ、書き下し文を付けるなど、段階的に古典の学習に慣れることができるようにした。
- 親しみやすい「古文入門」として、野村萬斎「古典の魅力」から、絵と文を対照しながら読める「ねずみの婿とり」へ、自然な流れで学習に入ることができるように構成した。
- 「漢文入門」では、漢字の発達と伝来の歴史、日本文化への影響を具体的な写真資料とともに紹介し、漢文学習の意義が目で見えてわかるよう工夫した。

●コラムの充実

- 評論単元には、論理的思考力を着実に高めるためのコラム「思考を深める」、文学単元には、作品をより深く豊かに味わうためのコラム「表現を味わう」を収録した。
- 各単元のテーマについて背景となる知識を広げ、読書へと誘うコラム「広がる読書、広がる世界」を収録した。
- 古典を読む力を磨くコラム「古文を読むために」「漢文を読むために」、教材理解に役立つ読み物「古文の窓」「漢文の窓」を収録した。

●資料編の充実

- 資料編では、古典に関する写真資料や地図などを豊富に示し、教材の理解をより深められるように配慮した。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容																								箇所	配当授業時数					
	A話すこと・聞くこと(1)				A話すこと・聞くこと(2)				B書くこと(1)				B書くこと(2)				C読むこと(1)				C読むこと(2)						伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項				
	ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ			ア	イ	ウ		
[現代文編]																															
1 随想	挑戦												○	○						○	○	○	○				○	○	p12~27	A:2 B:1 C:4 計7	
	尋ねあい—自由な主体への成長	○	○												○												○	○			
	言語活動 対話から始めよう	○	○																												
	広がる読書・広がる世界①																											○			
2 小説(一)	羅生門	○	○	○																							○	○	p28~55	A:1 B:1 C:6 計8	
	参考『今昔物語集』巻第二九 第一八																										○	○			
	鏡	○	○												○												○	○			
	表現を味わう①													○													○	○			
3 評論(一)	水の東西	○	○	○	○																						○	○	p56~73	A:3 B:1 C:4 計8	
	思考を深める①														○												○	○			
	まずは形から			○											○												○	○			
	言語活動 お薦めの本を紹介しよう	○	○	○	○																										
4 詩	鶯のうへ																										○	○	p74~79	A:0 B:0 C:3 計3	
	一つのメルヘン																										○	○			
	自分の感受性くらい																										○	○			
5 評論(二)	動的平衡としての生物多様性		○	○	○	○																					○	○	p80~97	A:1 B:0 C:5 計6	
	思考を深める②														○												○	○			
	自然と人間の関係をと おして考える	○	○	○	○																						○	○			
6 小説(二)	城の崎にて	○	○	○	○																						○	○	p98~121	A:1 B:1 C:6 計8	
	セメント樽の中の手紙	○	○	○	○																						○	○			
	表現を味わう②																										○	○			
	夢十夜	○	○	○																							○	○			
7 評論(三)	贅沢を取り戻す																										○	○	p122~141	A:3 B:1 C:5 計9	
	空気を読む		○																								○	○			
	言語活動 ミニ討論会をしよう	○	○	○	○	○																									
	広がる読書・広がる世界⑥																										○	○			
8 短歌・俳句	短歌十五首	○	○	○																							○	○	p142~157	A:1 B:1 C:5 計7	
	参考 短歌を訳す一言の壁を越えて	○	○	○	○																						○	○			
	俳句十二句																										○	○			
9 評論(四)	言葉についての新しい認識	○	○	○	○																						○	○	p158~181	A:1 B:4 C:5 計10	
	思考を深める③																										○	○			
	「方言コスプレ」現象	○	○	○	○																						○	○			
	言語活動 国語辞典を作ろう																										○	○			
10 小説(三)	友よ	○	○	○	○	○																					○	○	p182~201	A:1 B:0 C:5 計6	
	良識派	○	○	○	○																						○	○			
	表現を味わう④	○	○	○	○																						○	○			
	広がる読書・広がる世界⑧																										○	○			
11 評論(五)	技術としての「教養」	○	○	○	○																						○	○	p202~222	A:1 B:4 C:5 計10	
	思考を深める④																										○	○			
	白	○	○	○	○																						○	○			
	言語活動 意見文を書こう																										○	○			
11	豊かな言語活動のために																											○	○	p224~242	A:0 B:16 C:2 計18
	キーワード解説																										○	○			

図書の構成・内容	学習指導要領の内容																					箇所	担当授業 時数												
	A話すこと ・聞くこと (1)				A話すこと ・聞くこと (2)				B書くこと (1)				B書くこと (2)				C読むこと (1)				C読むこと (2)				伝統的な言語文化と 国語の特質 に関する事項										
	ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ	オ			ア		イ	ウ	エ	ア	イ	ウ				
[古文編]																																			
1 古文入門	古典の魅力																				○	○	○	○											
	ねずみの婿とり																					○					○	○	○	○					
	古文を読むために①																							○											
2 説話	宇治拾遺物語										○																								
	古文を読むために②																																		
	今昔物語集			○	○	○																													
3 随筆	徒然草			○	○	○																													
	古文を読むために④																							○					○	○	○	○			
	枕草子			○	○	○																													
	古文を読むために⑤																							○					○	○	○	○			
4 物語	竹取物語																																		
	伊勢物語			○	○	○																													
	古文の窓②																								○					○	○	○	○		
5 軍記	平家物語																																		
	古文の窓③																									○									
6 和歌	万葉集・古今和歌集・新 古今和歌集																																		
	古文の窓④																																		
	古文を読むために⑥																										○	○	○	○					
7 日記・紀行	土佐日記			○	○	○																													
	奥の細道			○	○	○																													
	古文の窓⑤																																		
[漢文編]																																			
1 漢文入門	漢文とは																																		
	1 訓読																									○	○								
	漢文を読むために①																																		
	2 返り点																										○	○							
	漢文を読むために②																																		
	3 再読文字																											○	○						
	漢文を読むために③																																		
	4 助字																												○	○					
	漢文を読むために④																																		
5 訓読に親しむ																												○	○						
2 故事成語	漢文を読むために⑤																																		
	言語活動 漢語の知識を広げよう																																		
	漢文の窓①																										○								
	借虎威																																		
	漁父之利																																		
3 古代の史話	蛇足					○	○																												
	朝三暮四																																		
	漢文の窓②																																		
	先從隗始			○	○	○																													
4 唐代の詩	鶏鳴狗盗			○	○	○																													
	臥薪嘗胆			○	○	○																													
	漢文の窓③																																		
	漢文を読むために⑥																																		
5 唐代の文章	絶句			○	○	○																													
	律詩																																		
	漢文の窓④																																		
雑説			○	○	○																														
	漢文の窓④																																		

図書の構成・内容		学習指導要領の内容																箇所	担当 授業 時数												
		A話すこと・聞くこと(1)				A話すこと・聞くこと(2)				B書くこと(1)				B書くこと(2)						C読むこと(1)				C読むこと(2)				伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項			
		ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	ア	イ			ウ	エ	ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ		
6 孔子の思想	学問・論語七章																													p386～ 393	A:0 B:0 C:3 計3
	政治・論語六章	○	○		○																										
	漢文の窓⑤																														
7 唐代の物語	人面桃花																													p394～ 400	A:0 B:0 C:2 計2
	漢文の窓⑥																														

総計 140